

御簾 みす

神道のしきたり

御簾は材料の竹が翠色であるところから、翠簾とも称します。元来は太陽の直射や寒風や外部からの見通しを防ぐためのものですが、装飾用の意味も多分に含まれます。竹の部分は正式には左右編みですが、略して一重編みのもあります。周囲の布は上辺の広い部分を帽額もこうと称し、両横へりと下の部分を縁こまといいます。御簾を巻いてかかげるために鉤かぎがあり、この鉤を釣るために、総の付いた丸い鉤丸こまると称する緒があります。

御簾は本殿の内陣・外陣にある扉の内側、幣殿・拝殿・神饌所・授与所などの内側の正面や左右あるいは四方に垂れるのですが、神明造の社殿には用いぬ慣例になっています。

御簾の掛け方については、どの場所に掛ける時も外面から見て体裁の良いように、表面を外に向けます。



祭典暦 令和7年9月

1	月	10:00	旬 祭	本殿
7	日	11:00	童男八乙女童女認証奉告祭	本殿
10	水	10:00	旬 祭	本殿
		11:00	沖恵美酒神社月次祭	境内末社
			招福縁日 十日市開催	
15	月	11:00	敬老の日祭	本殿
20	土	10:00	旬 祭	本殿
21	日	11:00	庭津火神社祭	境内末社
		17:00	宵宮祭	本殿
22	月	10:00	例 祭	本殿
23	火	7:00	秋季皇霊祭遥拜式	祓所
		10:00	渡御発興祭	本殿
		12:30	御旅所祭	新西宮 ヨットハーバー
	祝	17:20	渡御還御祭	本殿



おこたらず祈る手向の言の葉は、
おろかなるをも神や受くらむ
— 霊元天皇御製



元住す宮總本社
西宮神社



〒662-0974 兵庫県西宮市杜家町1-17
TEL 0798-33-0321 FAX 0798-33-5355
<https://nishinomiya-ebisu.com>

Follow Me

 西宮神社 公式 Instagram
@nishinomiya_ebisu_official



「福」をお届け

福の字には多くの書体があり、個性豊かなものが数多く存在します。
月毎に表紙で紹介し、皆様に福をお届けいたします。



西宮神社 9月行事ご案内

長月



令和七年九月

観月祭 10/6 月

主催 西宮神社 共催 西宮文化協会

中秋の名月を楽しめる十五夜に舞楽を楽しみ、月見料理に舌鼓をうち、秋のひとときをごゆっくりとお過ごしになれますようご案内申し上げます。

17:30 受付 ※17:45までに神社社会館ロビーにて受付をお済ませください。
18:00 観月祭祭典 西宮神社本殿
18:30 舞楽 五節舞・還城楽 女人舞楽 原笙会 西宮神社本殿
19:00 月見の宴 晚餐/お月見特別料理 西宮神社社会館
21:00 終了

お月見特別料理

菓子	食事	強肴	焚合	焼き物	造里	椀替り	前菜
兎上用饅頭	鰻井 香の物赤出汁	蟹 胡爪	ずいき	かます若狭焼き	鯛 鮪 烏賊	土瓶蒸し	搔敷 葛葉
ピオーネ			蛸炙煮	南瓜			

東京竹葉亭

会費

12,000円

払込の場合は、
右記口座に払い込み願います。

お振込先

尼崎信用金庫 阪神西宮支店

普通預金 0153002

口座名: 西宮文化協会 会長 吉井良昭

※振込手数料はご負担願います。

お申し込み

ご希望の方はお電話にて9月26日(金)までにお申込み下さい。
但し、定員60名になり次第締切ります。



西宮まつり 例祭・渡御祭 斎行

9/21 日・22 月・23 火祝

9月22日の例祭を中心として21日から23日を西宮まつりと称して例祭・渡御祭また色々な神賑行事を行います。

21日は17:00に宵宮祭を斎行し、祭典後に奉納演芸会を開催します。

22日は10:00より例祭が斎行され、午後からは200名のお子さんによる稚児行列、地域の小学生が製作した樽みこしの巡行を行い、境内・神社周辺が賑わいます。

23日には故実にてり渡御祭が執り行われ、本年は当社のすぐそばの西宮中央商店街にて神輿を始めとする約300名が行列で陸渡御を行い、新西宮ヨットハーバーで御旅所祭を斎行します。そののち神輿を乗せた御座船を中心に10艘の船が海上へ出発し、御前浜沖で斎行、氏子地域の安全・発展、氏子各位の繁栄を祈念致します。

本年は西宮市制100周年を記念して西宮市長石井登志郎様を始め約50名の西宮市にお住まいの方々にもご奉仕頂きますので、是非沿道でご覧下さい。

3日間の詳しい日程は

当社ホームページの西宮まつり特設サイトをご覧ください。

<https://nishinomiya-ebisu.com/matsuri/>

